

【論文・著書（主著）】

主著者	共著者	タイトル	掲載誌・書籍 (巻・号・ページ含む)	出版社	発行年
菅原 誠一		幻覚	精神症状の診かた・聴きかた	金剛出版	2021年
菅原 誠一		幻覚	精神科シンプトマトロジー (106~107)	医学書院	2021年
菅原 誠一		妄想	精神科シンプトマトロジー (176~177)	医学書院	2021年
田中 聡		食行動症または摂食症群と精神・身体合併症	身体的苦痛症群解離症群 心身症食行動症または摂食症群 (355~363)	中山書店	2021年
西岡 和郎	古村 健	コロナ禍におけるメンタルケア ~よりよい生活のために~	スモン患者さんのための 新型コロナウイルス感染症対策	一誠社(株)	2021年
田中 聡		摂食障害(成人)	今日の治療指針vol.63 2021 (1084-1085)	医学書院	2021年
古橋 功一		発達障害とうつ状態	精神科Resident Vol.1 No.1 (48-49)	先端医学社	2020年
吉岡 眞吾		発達障害の精神病理 I	児童青年精神医学とその 領域 60巻2号 222-223	日本児童青年精神医学会	2019年
吉岡 眞吾		日本精神病理学会 第41回大会(神戸)シンポジウムⅡ「発達、加齢と疾病の経過」を終えて	臨床精神病理 第40巻 第1号 66-69	日本精神病理学会	2019年
服部 理裕		インターネットのうつ病の診断に関する情報は信頼できるか?	労働科学94巻1号		2018年
吉岡 眞吾		司法精神病理学(forensic psychopathology)への勧誘	臨床精神病理39:136~140	日本精神病理学会	2018年
菅原 誠一		発達障害の精神病理 I		星和書店	2018年
西岡 和郎		編集後記	精神雑誌(2018)120巻12号	日本精神神経学会	2018年
舟橋 龍秀		精神鑑定の実践 -気分障害の責任能力について-	臨床精神医学47(11): 1251~1256	アークメディア	2018年
吉岡 眞吾		法曹と精神医学の対話	臨床精神医学47(11): 1171~1197	アークメディア	2018年
吉岡 眞吾		精神鑑定と矛盾 -相克と相互尊重のバランスを目指して-	臨床精神医学47(11): 1287~1292	アークメディア	2018年
服部 理裕		ストレスチェックの受検に関連する因子: 定期健康診断と同時期に実施することを中心とした検討	日本衛生学会誌(Jpn.J.Hyg)、73,235~240	日本衛生学会	2018年
服部 理裕		精神科王治医からの情報提供を充実させるために産業界が依頼文書に記載すべき要素の検討	産業衛生学雑誌60(1):1~14	日本産業衛生学会	2018年
西岡 和郎		(編集後記)	精神神経学4月号290頁	日本精神神経学会	2017年
西岡 和郎		Regional decrease in gray matter volume is related to body dissatisfaction in anorexia nervosa	Psychiatry Research:Neuroimaging	ELSEVIER	2017年
木村 卓		気分障害を持つ人のための「自動車運転に関する心理教育」を考える	精神医学vol.59 No.4 301~309頁	医学書院	2017年
菅原 誠一 (訳)		ジャック・ラカン 不安(下)		岩波書店	2017年
舟橋 龍秀		刑事責任能力鑑定の経験から	司法精神医学11(1)17-24	司法精神医学会	2016年
西岡 和郎		日常診療における精神療法 10分間で何ができるか		星和書店	2016年
西岡 和郎		Dysfunction of Response Inhibition in Eating Disorders	Journal of Clinical and Experimental Neuropsychology		2016年
西岡 和郎		risk factors for elevated liver enzymes during refeeding of severely malnourished Patients with eating disorders; a retrospective cohort study	Journal of Eating Disorders		2016年
菅原 誠一		病前性格と発病状況論を理解しよう -Tellenbach,H.のメランコリー論 (わが国の精神病理学に与えた多大な影響)-	精神科治療学 31(6) 717-722	星和書店	2016年
菅原 誠一 (訳)		ジャック・ラカン 不安(上)		岩波書店	2016年
東 誠		転換性・解離性障害	臨床児童青年精神医学 ハンドブック(200-207)	西村書店	2016年

金田 昌子		月経周期に関連した精神障害	臨床児童青年精神医学 ハンドブック(294-297)	西村書店	2016年
吉岡 眞吾	小西 聖子 他	「犯罪被害者の精神保健」新・精神保健福祉士 養成講座2(第2版)		中央法規出版	2015年
小林 芳樹		後期ラカン精神病理論から読み解く症例 アン ネ・ラウ	ニュクス 創刊号 228頁	堀之内出版	2015年
吉岡 眞吾		非行と児童精神医学をめぐってー臨床精神医 学の視点からー	青少年問題 第657号 (第62巻新年号)18頁	青少年問題研究会	2014年
小林 芳樹		ラカン 患者との対話 症例ジェラルム、エディ プスを超えて		人文書院	2014年
木村 卓		治療が進展しないときには問題発生機序の弁 証法的な把握が有用であるー入院長期化症例 の退院を目指した関わりから	臨床精神医学9月号 1393頁	アークメディア 臨床精神 医学 9月特大号	2014年
酒井 崇		医療観察法の治療において精神病理現象をど のように活用するかー小精神自動症・要素現象 に着目して治療が進展した症例を通じてー	臨床精神医学9月号 1385頁	アークメディア 臨床精神 医学 9月特大号	2014年
菅原 誠一		犯行時の病的体験に関する陳述を疑うべき ケースについてー妄追想の臨床観察から考える ー	臨床精神医学9月号 1377頁	アークメディア 臨床精神 医学 9月特大号	2014年
吉岡 眞吾		医療観察制度の現場から要請される課題ー特に 精神病理学的探求と自殺防止対策の室生生に ついてー	臨床精神医学9月号 1369頁	アークメディア 臨床精神 医学 9月特大号	2014年
吉岡 眞吾		医療 Vol.68 No.3 医療観察法指定入院医療 機関の「今日まで、そして明日から」	132頁	国立医療学会	2014年
金田 昌子	吉岡 眞吾 他	子どもの心の処方箋ガイド 転換性障害	212頁	中山書店	2013年
吉岡眞吾	小野寺美紀	あらためて、統合失調症を診る ー折り返し視点に立つ(?)精神科医師の聲ー	治療の聲 第14巻1号 P14-15	(通巻18号)星和書店	2013年
小林芳樹	小川豊明 他	J・ラカン「サントーム」	精神分析の名著 フロイト から土居健郎まで 296頁	中央論新社	2012年
吉岡 眞吾	舟橋 龍秀	「統合失調症の自殺の側面ー医療観察法指 定入院対象者におけるたがいと自殺関連行 為ー」	Progress in Medicine 第32 巻11号	ライフ・サイエンス	2012年
吉岡 眞吾	中安信夫 広沢正 孝 針間博彦 本田 秀夫 船山道隆ら	思春期妄想症	統合失調症とその関連領 域 ベッドサイド・プラクティ ス p183-197 (分担執筆)	星和書店	2012年
木村 卓	八木 深・吉住 昭	Application of Level of Care Utilization System for Psychiatric and Addiction Services (LOCUS) to Psychiatric Practice in Japan: A Preliminary Assessment of Validity and Sensitivity to Change	Community Mental Health Journal 電子版に掲載	Springer Science+Business Media New York	2012年
八木 深		韓国精神医療視察報告	日本精神科病院雑誌 Vol31N03	日本精神科病院協会	2012年
吉岡 眞吾	町野朔ら	台湾 台北市立連合病院 視察報告	2010年度 台湾調査報告 p 32~33	精神医療法研究会	2011年
吉岡 眞吾	村上靖彦、松本雅 彦ら	精神疾患の長期経過	治療の聲 12巻1号, p 5~ 21	星和書店	2011年
吉岡 眞吾	町野朔ら	韓国 国立法務病院 視察報告	2011年度 韓国調査報告 書	精神医療法研究会	2011年
吉岡 眞吾		長く診ることと長い目で診ること -40年にわた る慢性病態から離脱した統合失調症の一例に 対する伴走的精神療法の経験などから-	治療の聲 12巻1号, p 37 ~45	星和書店	2011年
吉岡 眞吾		“さらなる対話”を求めて -医療観察法施行後5 年の経験から-	法と精神医療 26号, p 40 ~53	成文堂	2011年
菅原 誠一		フランスのLacan派精神分析による自閉症理解 の現況	臨床精神病理第31巻3号	星和書店	2010年 12月
八木 深		医療観察法の幕開け前から本番への一経験	法と精神医療第25号:97- 110		2010年 11月1日
八木 深		「悪いこと」をしても責任を問えない場合がある の?	医療vol64 No3;171-176		2010年 3月
八木 深		医療観察法平成22年再検討を見据えた意見集 約	医療vol64 No3;209-212		2010年 3月
吉岡 眞吾	八木深 舟橋龍秀 粥川裕平	精神障害者の初犯防止に向けて ー司法精神医学の立場からー	犯罪学雑誌 第76巻第5 号		2010年
吉岡 眞吾		ソフト・シゾチミア型性格者のうつ病と対人恐怖 症	Bulletin of Depression and Anxiety Disorders 第8巻1号(通巻25号)		2010年

吉岡 眞吾		症例検討会という場 ーディスカッションする能力と臨床家の責任ー	治療の聲 第10巻1号		2009年
吉岡 眞吾		医療観察法と通院プログラム	臨床精神医学第38巻5号 特集/心神喪失者等医療 観察法の改訂をめぐって 7-2		2009年
吉岡 眞吾		司法的診断と臨床医学的診断-医療観察法の 実務経験と裁判員制度の施行前夜の狭間にお ける一試論ー	司法精神医学雑誌第4巻1 号		2009年
吉岡 眞吾	村上靖彦	思春期妄想症	精神科治療学 第23巻増 刊号「児童・青年期の精神 障害治療ガイドライン(新 改訂版)」		2008年
吉岡 眞吾		ソフト・シゾミア性格者の青年期うつ病とその 精神療法的視点からの一考察-病前性格論か ら回復の状況論へ架橋する試論としてー	臨床精神医学第37巻9号		2008年
吉岡 眞吾		肝障害(胆汁うっ滞性黄疸・肝細胞障害)、精神 科治療薬の副作用・予防・早期発見・治療ガイ ドライン	精神科治療学第22巻 増 刊号		2007年
吉岡 眞吾		便秘・麻痺性イレウス 精神科治療薬の副作 用・予防・早期発見・治療ガイドライン	精神科治療学第22巻 増 刊号		2007年
吉岡 眞吾		食欲低下 精神科治療薬の副作用・予防・早期 発見・治療ガイドライン	精神科治療学第22巻 増 刊号		2007年
吉岡 眞吾		下痢 精神科治療薬の副作用・予防・早期発 見・治療ガイドライン	精神科治療学第22巻 増 刊号		2007年
吉岡 眞吾		悪心・嘔吐 精神科治療薬の副作用・予防・早 期発見・治療ガイドライン	精神科治療学第22巻 増 刊号		2007年
吉岡 眞吾		口渇・鼻閉 精神科治療薬の副作用・予防・早 期発見・治療ガイドライン	精神科治療学第22巻 増 刊号		2007年
吉岡 眞吾	藤井洋一郎 八木 深 舟橋龍秀	医療観察法精神鑑定の現状と問題点につい てー東尾張病院における法施行後16例の鑑定 経験からー	臨床精神医学第36巻9号		2007年
吉岡 眞吾		”そのうち療法”、ベッドサイドでの一言	junior新書一言シリーズ④	医学新報社	2007年
吉岡 眞吾		精神病理学と不安ー統合失調症ー	こころの科学第128号「特 別企画不安と向き合う(中 山和彦編)	日本評論社	2006年
吉岡 眞吾		十五年 いつ子さんの体験	福岡行動医学雑誌 第12 巻 第1号		2005年
吉岡 眞吾		笠原嘉:精神医学における人間学の方法	精神科臨床のための必読 100文献 こころの臨床ア ラカルト 第22巻増刊号 「3」		2003年
八木 深		精神科救急治療標準化の試み ー精神科急性期クリニカルパスの作成ー	医療 P57、94-99		2003年
舟橋 龍秀		精神科における自殺	樋口輝彦編 自殺企図	永井書店	2003年
吉岡 眞吾	武藤原崇 安田丞 子 村上彩峰 吉 沢涼子 引地春子 安川邦枝 川嶋麻 子	喪失体験と自立ー訪問看護から見た統合失調 症(精神分裂病)患者ー	治療の聲 第4巻1号 P75-82		2002年
吉岡 眞吾	工藤潤一郎 小河原尚泰 森勇人	経過の良好な精神分裂病者の残された治療的 課題	精神分裂病ー臨床と病理 -3P131-150	人文書院	2001年
吉岡 眞吾	舟橋龍秀	精神科医のメンタルヘルス ー精神科単科病院の立場からー	精神科治療学16 P559- 562		2001年
吉岡 眞吾	舟橋龍秀 村上靖彦	思春期妄想症	精神科治療学16巻増刊号 「小児・思春期の精神障害 治療ガイドライン		2001年
舟橋 龍秀		精神分裂病の外延に関して	Schizophrenia Frontier P2,148-151		2001年
吉岡 眞吾	舟橋龍秀	職場の構造と精神科医のメンタルヘルス ー単科精神病院の立場からー	精神科治療学16 P559- 562		2001年
舟橋 龍秀		精神分裂病患者の自殺について ーその実態と危険因子および予防ー	医療 55:P159-163		2001年
吉岡 眞吾		妄想性人物誤認症候群	KEY WORD精神 第2版 P122-123	先端医学社	2000年

吉岡 眞吾		頻回再発型(ラピッドサイクラー)の双極型感情障害の長期慢性状態からの離脱にフルボキサミンが有効であった一症例	アクセス15(5) P30-31		2000年
八木 深	西岡和郎 鈴木國文	「カミダリー」と抑うつ持続する症例	精神科治療学15(7)P771-777		2000年
TATSUHIDE FUNAHASHI	YASUO IBUKI TSUTOMU NISHIMURA DAIJI AKEHASHI AND HIDEO SUGIURA	A clinical study on suicide among schizophrenics	Psychiatry and Clinical Neurosciences 54 P173-179		2000年
吉岡 眞吾	西岡和郎 鈴木國文 村上靖彦	多重人格(不全型)の一例—解離と分裂—	精神治療学14(2) P213-220		1999年
田中 聡	西岡和郎 鈴木國文	分裂病を「かわし損なった」男性例	精神科治療学14(5) P565-571		1999年
YOICHIRO FUJII	KUNIFUMI SUZUKI TETSUYA SATO YASUHIKO MURAKAMI AND TOSHIHIKO TAKAHASHI	Multiple personality in Japan	Psychiatry and Clinical Neurosciences 52 P299-302		1998年
吉岡 眞吾		精神分裂病者が治療者に与える親和的な印象と治療について	治療の聲1巻1号 P125-135		1998年
吉岡 眞吾		国精医会ニュース	国精医会ニュースNo.51		1997年
吉岡 眞吾	殿村忠彦 中川実舟橋龍秀 丸山誠一 工藤潤一郎 杉浦秀雄	長期経過を持つ躁うつ病患者の治療について—特に精神療法の視点から—	国立療養所東海北陸地区治療研究業績集	東海北陸地方医務局	1997年
吉岡 眞吾	殿村忠彦 中川実舟橋龍秀 丸山誠一 工藤潤一郎 杉浦秀雄	精神分裂病の初期病態と長期予後の関連に関する研究(第三報)	厚生省精神・神経疾患研究委託費—精神分裂病の病態解析に関する臨床的研究 総括研究報告書		1995年
丸山 誠一	殿村忠彦 中川実舟橋龍秀 工藤潤一郎 杉浦秀雄 吉岡眞吾	精神分裂病の初期病態と長期予後の関連に関する研究(第二報)	厚生省精神・神経疾患研究委託費—精神分裂病の病態解析に関する臨床的研究 平成5年度研究報告書 P65-70		1994年
丸山 誠一	殿村忠彦 中川実舟橋龍秀 工藤潤一郎 杉浦秀雄 吉岡眞吾	精神分裂病の初期病態と長期予後の関連に関する研究(第一報)	厚生省精神・神経疾患研究委託費—精神分裂病の病態解析に関する臨床的研究 平成4年度研究報告書 P45-50		1993年
吉岡 眞吾	中西俊夫 鈴木國文 村上靖彦	昏迷状態から「妄想気分」へ	精神科治療学7(1)P59-67		1992年

【論文・著書 (共著)】

東本 愛香	吉岡 眞吾	パーソナリティ障害と薬物療法 サイコパス(反社会性パーソナリティ障害)と治療	精神科 第35巻 第2号 205-211	科学評論社	2019年
Habuchi C	Torii Y	Clinicopathological study of diffuse neurofibrillary tangles with calcification With special reference to TDP-43 proteinopathy and alpha-synucleinopathy	J Neurol Sci.;301(1-2):77-85		2011 Feb
Iritani S	Torii Y	monoamine transporter 2 in the hippocampal formation of PCP-treated mice.	Neurosci Res.;68(2):125-30.		2010 Oct
山中 幸典	酒井崇	終末期がん患者の嘔気・嘔吐に対する olanzapineの有効性の検討	精神科治療学 第25巻06号	星和書店	2010年6月
沢 たか子	藤井洋一郎	多重人格障害:新しく装いを変えた古い構想	精神科治療学16(1)P95-99		2001年
大井 正己	吉岡眞吾	行為障害と反抗挑戦性障害	小児科臨床54巻増刊号 「子供のこころのケア」 n1307-1315		2001年
沢 たか子	藤井洋一郎	解離性同一性障害の鑑別診断について	精神科治療学15(11) P1207-1210		2000年

TOSHIHIRO ISHIKAWA	TATSUHIDE FUNAHASHI JUNNICHIRO KUDO	Effectiveness of the Kampo kami -shoyo-san- (TJ-24) for tremor of antipsychotics-induced parkinsonism	Psychiatry and Clinical Neurosciences 54 P579-582	2000年
TETSUYA SATO	TETSUYA SATO TORU UEHARA TOMOHIRO NARITA KAORU SAKADO YOICHIRO FUJII	Parental bonding and personality in relation to a lifetime history of depression	Psychiatry and Clinical Neurosciences 54 P121-130	2000年
村瀬 真治	藤井洋一郎	精神分裂病患者に対する精神療法研究の現況	精神科治療学14(6) P699-703	1999年
KAZUNOBU OKA	MASAHRU MAEDA TAKAYUKI HIRANO TATSUHIDE FUNAHASHI AND SUMIO YAMADA	Multicenter study on the effects of day care therapy on schizophrenia Acomparison of day care patients with outpatients	Psychiatry and Clinical Neurosciences 53 P505-510	1999年
大沼 梯一	吉岡眞吾他	大震災発生時のメンタルヘルス・ケア —国精療の対応に関するマニュアル—	平成7・8年度国立精神療 養所研究課題報告書	1997年